

触りた～い！ だけど・・・

海外旅行へ出かけたとき、特にアジアへ旅行されるときには街中を歩いていたり、道に寝ている犬を見かけることがあるかと思います。（アジア地域では暑いせいなのか猫の姿はほとんど見かけませんが・・・）

また、遺跡を巡る観光でも遺跡の中を自由に活動している犬をみかけたりします。



メンフィス博物館の遺跡（エジプト）

左遺跡の横で寝ている犬

飼われていたり、人からエサをもらっているため、人に慣れている犬が多く近くまで寄ることができます。そうすると・・・動物好きな人は触りたくなりますよね。

私自身は近寄って触りたくなってしまいます。（^ ^;） だけど・・・ちょっと待ってください！ 海外では、狂犬病という恐い感染症が発生しており、毎年、多くの人が感染した動物に咬まれて亡くなっていることをご存じですか。

アジアや中南米では犬、猫、吸血コウモリなどに咬まれたことが原因で狂犬病に感染してしまう人が多くいます。（特に犬が問題となります）アジア地域では、年間3万人以上の人が狂犬病で亡くなっており、世界保健機構（WHO）の報告によると平成16年にはインドで17,000人もこの狂犬病により亡くなっています。



アンベール城にいたサル（インド）



左写真と同じ城にいた象

日本では昭和32年を最後に動物での狂犬病は発生していませんが、昨年（平成18年）フィリピンから帰国した方が狂犬病を発症して亡くなっています。

この狂犬病は人を含めた全ての哺乳類が感染し、発症するとほぼ100%死亡してしまいますが、感染後（咬まれた後）でもワクチンを連続して接種することにより発症を防ぐことができます。海外で動物に咬まれてしまった場合は、できるだけ早く狂犬病ワクチン接種を行いましょう。



アルパカ（ペルー）

ウロス島にいた犬（ペルー）

狂犬病はオーストラリア、ニュージーランド、イギリスなど一部の国を除いて全世界で発生しています。



マチュピチュ

湖に浮いているウロス島（芦でできた島）でも、標高の高いマチュピチュでも動物に出会うことができます。

海外で出会うすべての動物が狂犬病ウィルスを持っているわけではありません。しかし、どんなにかわいい動物（ウロス島にいた犬はかわいかった！）でも、写真を撮るだけで・・・触ることは我慢しましょう！

触りた〜い！だけど・・・我慢、我慢！



マチュピチュ（ペルー）

標高2,280mにある世界遺産マチュピチュにもアルパカはいて、地面には糞がコロコロ落ちていました。

by ピヨピヨ観光添乗員

